

バンガード®・FTSE・パシフィックETF

2018年3月31日現在

VPL

投資アプローチ

- FTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指します。
- 太平洋地域の普通株式を投資対象とします。
- 完全法を用いたパッシブ運用です。
- ファンドはフルインベストメントを維持します。
- 低経費によってトラッキングエラーを最小限に抑えます。

ベンチマークについて

- FTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックスは、太平洋地域先進国の株式市場のパフォーマンスを測定します。
- 大型、中型、小型株の市場パフォーマンスを測定します。
- 対象国として、日本、オーストラリア、韓国、香港、ニュージーランド、シンガポールが含まれます。

パフォーマンス実績

2018年3月31日までのトータルリターン²

VPL (設定2005年3月4日)	四半期	年初来	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
基準価額 (NAV) リターン ³	0.45%	0.45%	18.70%	8.83%	7.50%	4.59%	5.57%
市場価格リターン ⁴	0.37	0.37	18.46	8.78	7.41	4.61	5.57
合成パシフィック・インデックス	-0.46	-0.46	18.27	8.45	7.42	4.60	5.32
FTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・フェアバリュー・インデックス	0.19	0.19	18.75	—	—	—	4.65

2013年3月26日まではMSCIパシフィック・インデックス、2015年9月30日まではFTSEディベロップド・アジア・パシフィック・インデックス、その後はFTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックス。ベンチマークのリターンは源泉徴収税に応じて調整されています。

上に掲げたパフォーマンスのデータは過去の実績であり、今後の結果を保証するものではありません。投資リターンと元金価額は変動するため、投資家が持分を売却する時には、その価値が当初のコストを上回る、あるいは下回ることがあります。また現在のパフォーマンスは上述のデータを上回る、あるいは下回ることがあります。

インデックスに直接投資することはできません。

投資商品：FDIC保険対象外・銀行保証なし・投資元金損失のリスクあり

概要

ベンチマーク	FTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックス
経費率 ¹	0.10%
配当スケジュール	四半期毎
ETF純資産総額	48.38億米ドル
ファンド純資産総額	81.07億米ドル
設定日	2005年3月4日

取引情報

ティッカー・シンボル	VPL
CUSIP番号	922042866
IIV (イントラデイ・ティッカー)	VPL.IV
インデックス・ティッカー (Bloomberg)	ACDAPR
上場取引所	NYSE Arca

ETFの主なデータ

	バンガード・FTSE・パシフィックETF	FTSEアジアパシフィック先進国オールキャップ・インデックス
構成株式銘柄数	2,319	2,286
時価総額の中央値	189億米ドル	189億米ドル
株価収益率	13.3倍	13.3倍
株価純資産倍率	1.4倍	1.4倍
株主資本利益率	10.1%	10.1%
利益成長率	13.1%	13.1%
株式利回り	2.5%	2.5%
売買回転率 ⁵	2.7%	—
標準偏差 ⁶	11.59%	12.61%

¹ 直近の目論見書の記載から (2018年2月23日付)。ファンドの現在の経費率は、目論見書に記載されている数値よりも低い、または高い可能性があります。

² 期間1年未満の数値は累積のリターンです。それ以外の数値は平均の年次リターンです。ファンドのパフォーマンス実績は、配当金とキャピタルゲインの再投資を含む、税引前および経費差引後の数値です。ベンチマークとなるインデックスが示すのは、さまざまな金融資産にかかる、ファンドマネジャーによる運用がされていないリターン、あるいは平均リターンであり、ファンドの相対的なパフォーマンスを検討する上で、ファンドのトータルリターンとの比較対象となります。

³ 米国東部時間午後4時、すなわちニューヨーク証券取引所の大引け時の基準価額。

⁴ 市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は米国東部時間午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算します。

⁵ 最新の会計年度の数字。売買回転率の計算には、バンガードETFのクリエイション・ユニット (原資産バスケット) の引渡しを含む、現物による設定・解約の結果受渡しされる証券価額は含まれません。

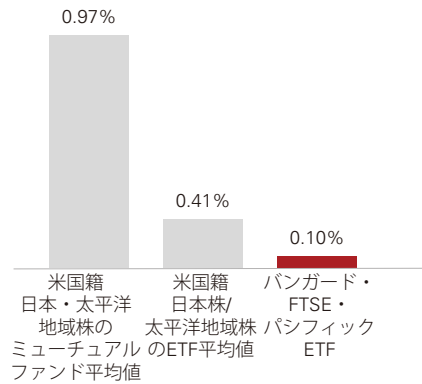
⁶ ファンドの変動率の指標の一つで、過去のリターンの分散の程度を示します。過去3年間の月次リターンを基に計算し、標準偏差の値が大きいほど、潜在的な変動率が高いこととなります。過去のパフォーマンス実績が36ヵ月に満たないファンドについては、標準偏差は計算されません。

バンガード・FTSE・パシフィックETF

2018年3月31日現在

VPL

経費率の比較¹



市場別構成比率 (%)

日本	59.1%
オーストラリア	15.5
韓国	12.9
香港	8.6
シンガポール	3.2
ニュージーランド	0.7

保有上位10銘柄と純資産総額に占める割合 (%)²

Samsung Electronics Co. Ltd.	3.4%
トヨタ自動車	2.3
AIA Group Ltd.	1.4
Commonwealth Bank of Australia	1.3
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.1
Westpac Banking Corp.	1.0
BHP Billiton	0.9
ソフトバンクグループ	0.8
ソニー	0.8
本田技研工業	0.8
純資産総額に占める上位10銘柄の割合	13.8%

セクター別の構成比率(普通株式の割合比較) (%)³

金融	23.7%
消費財	21.1
資本財	18.9
消費者サービス	10.0
素材	7.5
ヘルスケア	6.5
テクノロジー	5.1
通信サービス	3.1
公益	2.3
石油・ガス	1.8

¹ 直近の目録見書に記載されているバンガードETFの経費率です。ミューチュアルファンドとETFの間には大きな違いがあります。ETFはミューチュアルファンドと異なり、流通市場において終日にわたって絶えず値付けされ、証券ブローカーの仲介によって、基準価額にプレミアム/ディスカウントを加えて売買されます。この仲介に対しては手数料が支払われます。出所：Lipper, a Thomson Reuters Company、およびVanguard、2017年12月31日

² 記載された保有銘柄は一時的な現金投資および株式インデックス商品を含みません。

³ セクターは、業種分類ベンチマーク (ICB) 基準による分類です。

バンガードETFにおける受益証券の設定または交換は、通常数百万ドル単位のクリエーション・ユニット (原資産バスケットおよび現金) の引き渡しによってのみ行われます。投資家は、流通市場においてバンガードETFの受益証券の売買を行い、証券取引口座にこれらの受益証券を保有しなければなりません。その際、投資家は仲介手数料を課されます。また、ETF購入の際には基準価額を上回る金額を支払い、あるいは売却時には基準価額を下回る金額を受け取る可能性があります。

すべてのETF商品はリスクにさらされており、元金が失われる可能性があります。海外の発行体が発行した証券への投資には、カントリー・リスク、地域リスク、為替リスク等のリスクが伴います。

London Stock Exchange Group companies には、FTSE International Limited (「FTSE」)、Frank Russell Company (「Russell」)、MTS Next Limited (「MTS」) および FTSE TMX Global Debt Capital Markets Inc (「FTSE TMX」) が含まれます。無断複写・転載を禁じます。FTSE または Russell に関する「FTSE®」、「Russell®」、「MTS®」、「FTSE TMX®」、「FTSE Russell」およびその他のサービスマークおよび商標は、London Stock Exchange Group companies の商標であり、FTSE、MTS、FTSE TMX および Russell がライセンスに基づいて使用します。すべての情報は、情報提供のみを目的として提供されています。本刊行物に掲載されたすべての情報の正確を期しておりますが、London Stock Exchange Group companies およびそのライセンサーは本刊行物の使用による損害に対し一切責任を負いません。London Stock Exchange Group companies およびそのすべてのライセンサーは、明示・黙示を問わず、FTSE インデックスを使用した結果や、FTSE インデックスが使用されるあらゆる特定目的へのそれらの適合性についていかなる要求、予測、補償、表明も行いません。

バンガードETFについての詳しい情報は取扱証券会社にお問い合わせください。また、投資目的、リスク、手数料、経費、その他重要情報等を十分にご確認ください。